

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(316)(HP 収載)

—ブラームスの弦楽四重奏曲第1番・第2番—

1. 始めに

前報(315)に引き続き、STAGE+のツェートマイアー・クアルテットによるブラームスの弦楽四重奏曲第1番と第2番の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(315)に引き続きツェートマイアー・クアルテットによるブラームスの弦楽四重奏曲第1番と第2番を選びました。

演奏:

ツェートマイアー・クアルテット

曲目:

ヨハネス・ブラームス

弦楽四重奏曲 第1番 ハ短調 作品51の1

第1楽章: Allegro

第2楽章: Romanze. Poco adagio

第3楽章: Allegretto molto moderato e comodo -un poco piu animato

第4楽章: Allegro

ヨハネス・ブラームス

弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 作品51の2

第1楽章: Allegro non troppo

第2楽章: Andante moderato

第3楽章: Quasi menuetto. Moderato ? Allegretto vivace

第4楽章: Finale. Allegro non assai ? Pi? vivace



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。また、下記のとおり、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力は ABS-7777 を適用しています。

2 曲とも、ブラームスの室内楽らしく、メランコリックなロマンチズムの漂う曲です。

ツェートマイアー・クアルテットは、初めて聴く四重奏団ですが、1997 年に結成された弦楽四重奏団で、ストイックなアプローチとして評価されています。

この演奏でも、抑制を効かせながらも緊張感ある演奏で、ブラームスのメランコリックロマンチズムを表現しています。

4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想

アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+ に送り出し、PC と Brooklyn DAC+ の間には USB アキュライザーに交換した結果、ツェートマイア・クアルテットの抑制を効かせながらも緊張感あるブラームスを聴かせてくれました。

以上